

指導補助者(TA)研修・プレFDプログラムをどう立ち上げるか？

佐藤 浩章(東京大学 大学総合教育研究センター 教授)

講師略歴

専門は高等教育開発。博士(教育学)。愛媛大学大学教育総合センター教育システム開発部講師・准教授、教育・学生支援機構教育企画室准教授・副室長、大阪大学全学教育推進機構准教授、学際大学院機構教授を経て、2024年8月より現職。勤務校において、プレFDやTA研修の立ち上げを担当。

プログラム概要

2019年の大学院設置基準の改正により、博士後期課程の学生に対するプレFDの実施や情報提供が努力義務化されました。さらに、2022年の改正では、指導補助者(TA)への研修義務化や授業科目の一部担当が可能となるなど、プレFDの重要性が一層強調されています。

このプログラムでは、各大学で指導補助者(TA)やプレFDをどのように立ち上げるのかについて、法的根拠や実施の意義、ならびに先進大学における実践事例をもとに学びます。具体的な内容や教材もご覧いただけます。参加者は、所属大学の実践の特徴と課題を抽出したあと、立ち上げのヒントを見出すことになるでしょう。

所属大学の事例について事前に調べていただき、可能であれば関連資料を持参いただき、ディスカッションに参加ください。所属大学においてこれらの取り組みが未実施であっても構いません。また現段階では、担当者が不在の場合、他部署の教職員が参加されても構いません。

準備物・事前課題

所属大学の指導補助者(TA)研修、プレFDプログラムの実態がわかる関連資料があれば持参する。ない場合も事前に情報を入手しておくことが望ましい。

主な受講対象者

・指導補助者(TA)研修やプレFDに関わる教職員

到達目標

1. 指導補助者(TA)研修・プレFDの必要性について学内教職員向けに説明することができる。
2. 先進大学における指導補助者(TA)研修・プレFDの実態を説明することができる。
3. 所属組織の指導補助者(TA)研修・プレFDの特徴と課題を抽出することができる。
4. 所属大学において指導補助者(TA)研修・プレFDを立ち上げるためのヒントを見出すことができる。